



「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。

株主通信

第19期 中間報告

2010年4月1日 ▶ 2010年9月30日



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

シップヘルスケアホールディングス株式会社

『進化』と『成長』はとまらない

「企画力」を強化すると同時に、スケール拡大とグループシナジーにより、事業基盤のワンランクアップを目指す

Q1. まず、現在の経営環境については、どのように認識されていますか。

A. 当社グループの属する医療業界では、団塊の世代が後期高齢者へ近づくなど、医療費は今後も拡大することが確実視されております。また、10年ぶりに診療報酬が増額改定となり、特に急性期・外科部門におけるプラス幅が大きかったことから、これまで抑制されてきた医療機関の設備投資意欲に回復の兆し

が見られるようになってきており、業界全体にフォローの風が吹いております。

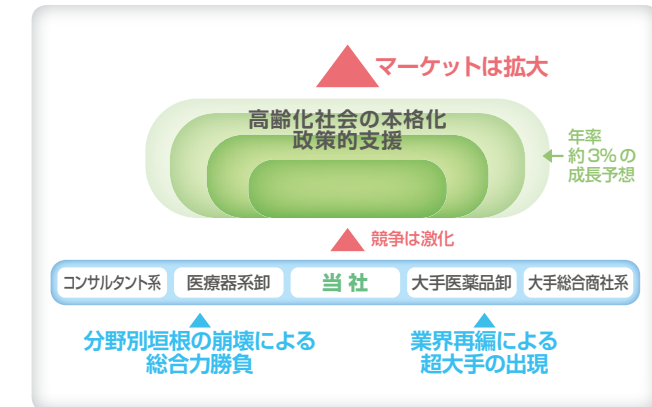
一方で、医師・看護師不足、医療の地域格差、病院経営の効率化、IT化など、医療環境を取り巻く問題は複雑多岐にわたっており、限定的なスケールのサービスの提供では医療機関の求めるソリューションを提供できない状況になってきております。

このような状況の下、同業他社におきましては各社ともサポートの範囲・スケールの拡大を狙って幅広い範囲での業界再編が続いており、競争は激化しております。

また、前期に加わった酒井医療㈱も当社グループとの連携により収益体質が改善すると共に、当社グループのバリューチェーンも拡大させることができ、事業機会がこれまで以上に拡大しつつあります。

今期のグループスローガンは「!! 自立自主!!」であります。これには各社、各自が自ら考え、お互いが強く連携し、さらに飛躍するという意味を含めております。今後とも持株会社体制のメリットをさらに高め、グループの効率化と拡大に努めてまいります。

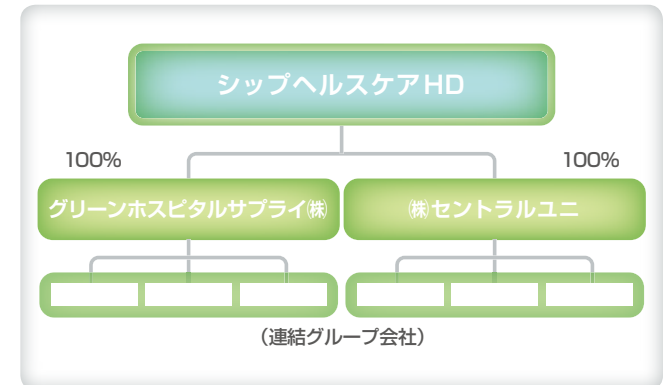
■ 市場・業界環境



Q2. そうした中で、持株会社体制に移行されて約1年がたちましたが、その成果についてお聞かせ下さい。

A. このような状況を踏まえ、グループシナジーを強化することで顧客の複雑多岐にわたるニーズに、ワンストップソリューションを提供できる能力をさらに高めたいという趣旨で、約1年前に持株会社体制へ移行いたしました。この結果、グループ全体の方向感の統一と整理統合や連携強化が進み、グループ各社の収益体質が改善し、大きな成果が獲得されつつあります。

■ グループ体制（2010年9月末現在）



Q3. 直近の業績についてはいかがですか。

A. 前述のように業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いているものの、一部明るい兆しも見えてきたことから、プロジェクト案件が当初想定以上に積み上がりました。また、医療設備・医療機器への引き合いが増加したことや、院内外SPDシステムの受託件数が順調に拡大したこと、介護付有料老人ホームの入居率が約9割まで増加したことなどから当初計画以上に進捗いたしました。

Q4. それでは、現在の、具体的取組みについてお話しください。

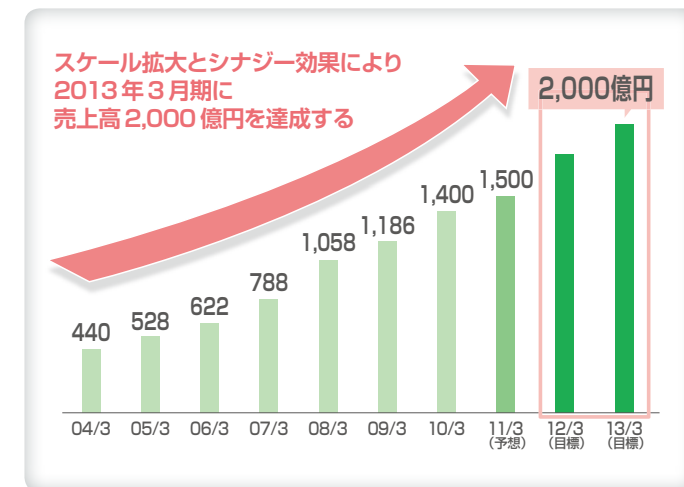
A. 当社グループでは、2009年3月期を初年度とする中期3ヶ年計画を策定しており、その基本戦略に基づき具体的な施策を推進しております。こうした中で、1年前倒しで数値的目標の多くを既に達成しております。現在の課題といたしましては、売上・利益のさらなる上乗せに努めることはもちろんのこと、再度、この1年を将来に向けたグループ事業基盤の整備・拡張に取り組む期間として注力してまいります。この一環として、今後の成長が予想されるメーカー分野の事業拡大に向けて、㈱セントラルユニと山田医療照明㈱、酒井医療㈱の協業によるSSC(スキルシミュレーションセンター)を積極的に活用してまいります。また、順調に拡大している院外SPD需要への対応として第2ロジ(物流センター)の建設を推進するとともに、市場の拡大が見込まれる介護付有料老人ホーム市場へのマーケティング実施など、将来を見据えた事業基盤の整備を進めてまいります。

Q5. 最後に株主の皆さまへのメッセージをお願いいたします。

A. 当社グループは、2013年3月期に売上高2,000億円の達成を目標に掲げております。この達成については、市場の成長と事業基盤のスケール拡大、グループシナジー効果をもって到達するものと確信しております。当社グループでは、この売上高2,000億円という目標はあくまでも通過点として捉えており、さらに成長していくために、再生医療、地域医療ネットワーク、海外展開などへの取組みを加速させております。市場・業界環境が大きく移り変わる中、当社グループは創業の志を大切に、今後とも医療業界のイノベーターとして時代を先取りした企画力と質・量ともにワンランクアップした事業基盤をもって、次なる成長を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 業績推移と中期計画

(売上高：億円)



代表取締役社長

古川 國久

—— グループ理念 ——

S. H. I. P.

Sincere + Humanity + Innovation + PartnerSHIP
(誠実な心) (「情」の心) (革新者の気概) (パートナーシップ精神)

「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。
シップヘルスケアグループはいつもYour Company です。

—— 2010年度スローガン ——

!! 自立自主 !!
ドレミファソラシド

IFRS導入 コンバージェンススタート

人材教育の
積極的展開

10年間の段階的OJTを実施

人の命にかかわる事業を営む当社グループにとっては、社員一人ひとりの誠実さが一番重要なこととなります。こうした観点から当社グループでは、人間力を磨く教育を実践するとともに、その人間力をベースにしたスキルアップのOJTを展開しています。目指せ「宮大工」。宮大工は、神社仏閣を造るために、左官、石工、庭師などを総合的にプロデュースすることが必要であります。現在、この「宮大工」を目標に10年間の段階的OJTを実施し、人材教育を積極的に展開しています。

日本経済新聞
「以心育人」シリーズに登場

教える方も真剣、学ぶ方も必死。そんな当社グループの教育の在り方への高い関心により、日本経済新聞社がシリーズで展開する「以心育人」に当社社長が登場しました。

2010年
10月27日
全国版朝刊



詳細は「日本経済新聞社
特設サイト」をご覧ください。

<http://ps.nikkei.co.jp/ishinikujin/>

「原理原則」を伝承する
研修を実施

グループ理念浸透の研修を実施

当社グループは、業容拡大の過程において多くの新たな会社、人材を迎えてきました。現在、より一層の成長を目指し、グループ一丸となって様々な問題・課題に取り組んでいます。その根幹はグループの理念を共有し、志をもって協調していくことにあります。「至誠惻怛(しせいそくだつ)」すなわち「S.H.I.P.」、これが当社グループの根源です。この理念をもって全社員がともに歩めるよう、理念浸透の研修を実施しています。

原理原則研修について

これまで当社グループでは金剛山研修、御岳山研修など教育研修に力を入れてきましたが、当社グループの中核企業であるグリーンホスピタルサプライ(株)(GHS)の幹部社員を対象に原理原則研修を開催しています。



■「原理原則研修」とは

GHSはどのように今の形になってきたのか？

各現場や研修等でその都度先輩社員から後輩社員へ伝承されていることですが、

① それは体系付けた認識だったわけではなく、これを整理する必要がある。

② 集団の規模が拡大する中で考え方・ベクトルの統一を確認する必要がある。

といった問題意識がこの研修を行うきっかけになりました。

また、創業者である古川が毎回出席し、会社創業以前から現在に至る過程での様々な出来事やお客様とのエピソードなどを交え、溢れんばかりの議論がなされています。

■ 参加者の声

- GHSの歴史を理解できた。この歴史の積み重ねでS.H.I.P.理念が生まれたのだと実感した。今後改めてこの理念の意味を深く突き詰め、仕事の中で実行したい。
- お客様本位ということは最重要でありながらそれが何かというのは実は難しい。自分ならまずどうして欲しいかという問いかけからはじめたい。
- 感謝の気持ちと謙虚さを持って、ユーザー、仕入先、社員と接することの大切さを再認識し、部下へ伝えていくことの責任を感じた。決めたことはやり通す、「NO」といわないことの大事さを改めて感じました。

個人投資家向け
IR活動を強化

「日経IRフェア2010」に参加

2010年9月3日～9月4日の2日間、東京ビッグサイトにおいて開催されました「日経IRフェア2010」に参加いたしました。展示ブース、会社説明会ともに、大勢の皆さまに足をお運びいただきありがとうございました。今後とも、個人投資家の皆さまとお会いする機会を積極的につくってまいります。



ご存知ですか？

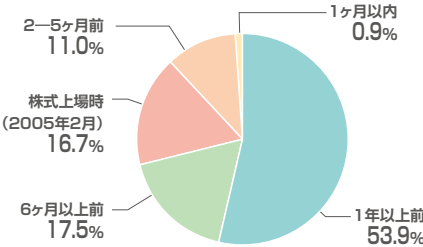
当社をよりご理解いただくために、当社ホームページのIRページ内に「個人投資家の皆さまへ」ページを設けています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.shiphd.co.jp/ir/shareholders/>

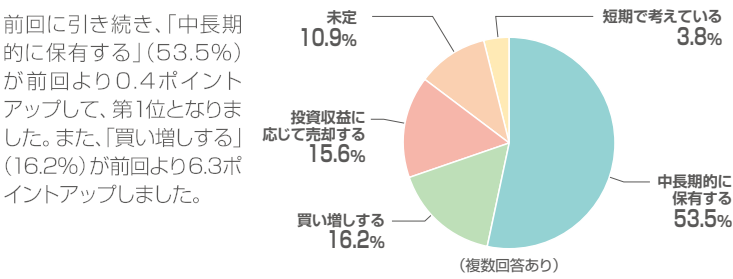
アンケートへのご協力ありがとうございました。

第18期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、645名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2010年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

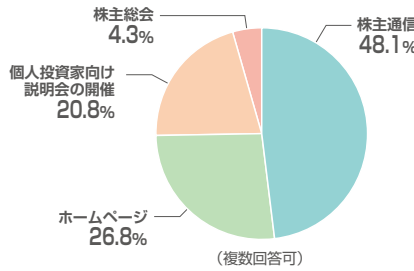
Q1. 当社株式をいつ頃ご購入されましたか？



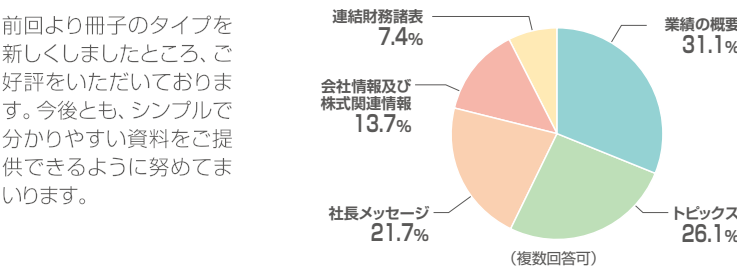
Q2. 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



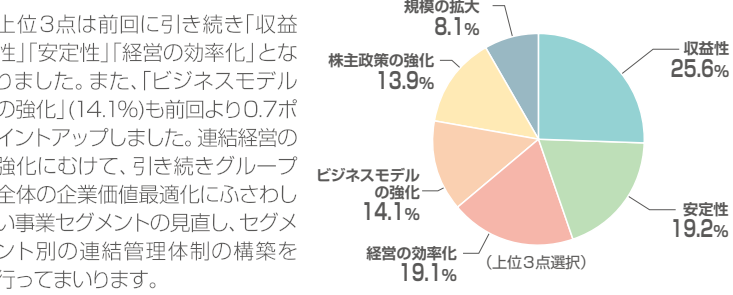
Q4. 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか？



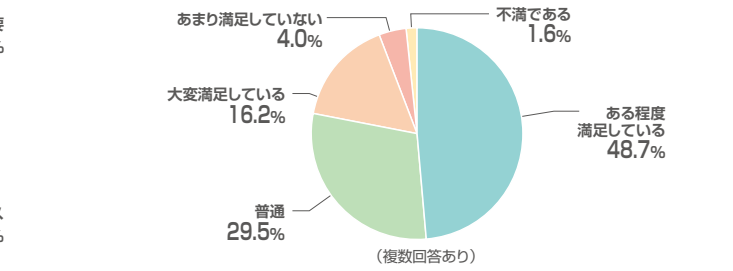
Q5. 今回の株主通信で、ご興味を持たれた内容は何ですか？



Q3. 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



Q6. 今回の株主通信をどのようにご評価されますか？



その他の
主なご意見

経営に対するご意見の一部

- グループ理念の実現をめざして、コンプライアンスを守り、安定成長を望みます。
- ユニークな事業展開でさらに発展強化して、業界のバイオニアになることを期待しています。
- 将来性あるヘルスケア事業、応援しています。魅力ある会社だと思います。
- 増配ありがとうございます。
- 収益性を重視して、その環境づくりをより強いものに。

その他様々なご意見の一部

- 短期保有目的で購入したが、事業内容に関心を持った。このまま保有していきたい。
- 企業は人なり。社員一同大切に。
- オンリー1企業になってほしい。
- 医療設備を通じての社会貢献とあわせて利益の追求を期待しています。
- 株主への施設見学会を。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。その中で特徴的だったのは、当社事業の社会的意義や将来性についてご支援やご賛同のお言葉を数多くいただいたことでした。次いで、株価、経営に対するご意見等をいただきました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

	当第2四半期 2010年9月30日現在	前第2四半期 2009年9月30日現在	前 期 2010年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	66,839	54,293	77,312
現金及び預金	14,464	9,287	11,588
受取手形及び売掛金	37,914	30,547	52,941
商品及び製品	6,056	5,205	5,736
仕掛品	1,424	2,363	1,791
その他	7,248	7,041	5,607
貸倒引当金	△ 268	△152	△353
固定資産	36,173	44,078	37,306
有形固定資産	23,291	25,886	23,618
建物及び構築物(純額)	6,994	8,490	7,167
土地	5,822	6,667	5,841
賃貸不動産(純額)	9,135	9,458	9,288
その他	1,339	1,269	1,321
無形固定資産	971	6,161	957
投資その他の資産	11,910	12,030	12,731
資産合計	103,013	98,371	114,619

(単位：百万円)

	当第2四半期 2010年9月30日現在	前第2四半期 2009年9月30日現在	前 期 2010年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	51,894	51,788	64,157
支払手形及び買掛金	33,420	26,511	42,729
短期借入金	6,176	11,126	6,245
未払法人税等	762	910	1,913
賞与引当金	1,000	839	943
その他	10,535	12,400	12,326
固定負債	24,158	22,164	25,951
社債	3,664	2,124	4,488
長期借入金	17,848	17,549	18,390
退職給付引当金	1,411	1,048	1,449
その他	1,234	1,442	1,622
負債合計	76,053	73,953	90,109
【純資産の部】			
株主資本	25,902	17,793	23,466
資本金	5,667	5,667	5,667
資本剰余金	10,036	6,593	10,036
利益剰余金	10,200	5,534	7,764
自己株式	△ 1	△1	△1
評価・換算差額等	735	644	770
その他有価証券評価差額金	749	656	778
為替換算調整勘定	△ 13	△12	△7
少数株主持分	322	5,978	272
純資産合計	26,960	24,418	24,509
負債純資産合計	103,013	98,371	114,619

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2010年4月 1日～ 2010年9月30日	前第2四半期 2009年4月 1日～ 2009年9月30日	前 期 2009年4月 1日～ 2010年3月31日
売上高	72,505	58,031	140,009
売上原価	62,179	50,595	120,869
売上総利益	10,326	7,435	19,139
販売費及び一般管理費	7,062	5,916	13,439
営業利益	3,264	1,519	5,700
営業外収益	952	574	1,325
営業外費用	335	393	883
経常利益	3,880	1,700	6,142
特別利益	57	59	658
特別損失	165	138	1,069
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,772	1,621	5,732
法人税、住民税及び事業税	857	936	2,503
法人税等調整額	△ 456	△335	△ 195
少数株主損益調整前四半期純利益	3,371	—	—
少数株主利益	60	95	269
四半期(当期)純利益	3,311	924	3,154

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2010年4月 1日～ 2010年9月30日	前第2四半期 2009年4月 1日～ 2009年9月30日	前 期 2009年4月 1日～ 2010年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,056	1,389	2,776
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 228	△1,787	3,184
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,980	△54	△ 4,242
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 5	4	9
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,841	△448	1,727
現金及び現金同等物の 期首残高	10,485	8,793	8,793
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	108	△35	△ 35
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	13,435	8,310	10,485

業績の概要

Outline of Business Results

主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位：百万円)

	2008/3	2009/3	2009/9	2010/3	2010/9 当第2四半期
売上高	105,871	118,604	58,031	140,009	72,505
営業利益	2,979	3,625	1,519	5,700	3,264
経常利益	3,045	3,761	1,700	6,142	3,880
四半期(当期)純利益(△純損失)	△3,767	2,053	924	3,154	3,311
総資産	107,317	101,573	98,371	114,619	103,013
純資産	21,202	23,534	24,418	24,509	26,960

トータルバックシステム事業

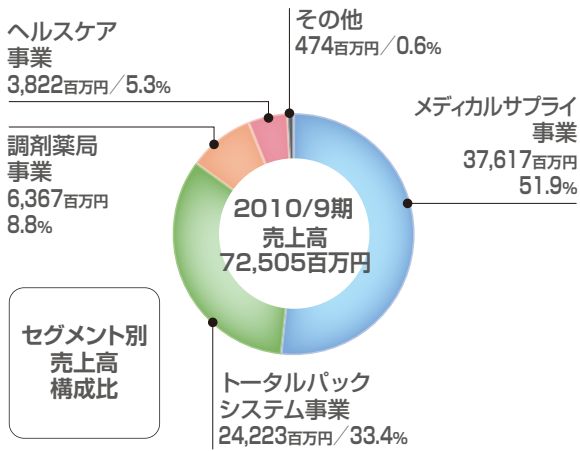
トータルバックシステム事業におきましては、プロジェクト案件が当初想定以上に積み上がりました。また、(株)セントラルユニの設備工事が順調に推移するとともに酒井医療(株)における介護入浴装置の販売も順調に推移いたしました。この結果、売上高は24,223百万円(前年同四半期比66.2%増)、セグメント利益は1,910百万円(同136.5%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、院外SPD・院内SPDの受託が拡大し売上高が増加いたしました。また、業務改善による利益率の改善も進捗いたしました。この結果、売上高は37,617百万円(前年同四半期比11.7%増)、セグメント利益は711百万円(同32.9%増)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム運営事業において全7施設(定員1,308名)における2010年9月末入居者数は1,173名まで増加し、全施設が黒字で推移するとともに、食事提供サービス事業におきましても計画通り推移いたしました。この結果、売上高は3,822百万円(前年同四半期比18.9%増)、セグメント利益は457百万円(同107.6%増)となりました。



その他

その他におきましては、動物病院事業における高度画像診断とこれに伴う手術件数が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり推移いたしました。この結果、売上高は474百万円(前年同四半期比17.7%増)、セグメント利益は60百万円(同110.7%増)となりました。

業績予想について

Earning Forecast

▶ 2011年3月期の通期予想について

わが国経済は、依然として不透明な状態が続いておりますが、当社グループの属する医療業界におきましては、急性期病院を中心とした診療報酬の増額改正による投資意欲回復の兆しなどにより、当第2四半期の業績が当初予想を上回ったことを踏まえ、通期予想を2010年10月26日付けで上方修正しています。現在、市場も堅調に推移しておりますので、目標の達成を目指して着実に歩みを進めてまいります。

(2010年10月26日発表数値)

売上高

TPS事業が順調に推移していることに加え、メーカー系分野が伸びていることなどから、前年通期実績比7.1%増の1,500億円を予想

▶ 1,500億円

営業利益

売上高の増加及び調剤薬局事業、ヘルスケア事業の介護付有料老人ホームが計画通りに推移していることなどから、前年通期実績比10.5%増の63億円を予想

▶ 63億円

当期純利益

売上高の増加及びIT部門改革における不採算部門の整理による税金費用の減少、前年通期実績比58.5%増の50億円を予想

▶ 50億円

▶ 2013年3月期売上高2,000億円の目標について

当社は、2013年3月期に売上高2,000億円の達成を目指しています。この達成については、当社グループの属する医療業界において年率約3%程度の成長が見込まれていることを背景に、個々の事業における基盤整備とスケール拡大、さらに、グループ間のシナジー効果を創出してまいります。

トータルバックシステム事業

企画力によるスケール拡大とグループ各社との情報共有の推進

メディカルサプライ事業

第2ロジの稼働、扱い商材の拡大などの基盤整備を推進

ヘルスケア事業

入居率の維持・拡大及び新たな展開を検討

調剤薬局事業

医療機関とのパートナーシップのもと、着実な展開を推進

※ 上記の業績予想は、当社グループが2010年11月10日時点で把握可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

会社情報

(2010年9月30日現在)

会社概要

商 号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設 立 1992年8月
 代表取締役社長 古川 國久
 資 本 金 56億6,708万円
 決 算 月 3月
 従 業 員 数 連結2,232名
 本 社 所 在 地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

役員

代 表 取 締 役 社 長	古 川 國 久
専 務 取 締 役	増 田 川 宏
取 締 役	小 川 宏
取 締 役	小 林 宏
取 締 役	大 橋 太
取 締 役	沖 本 浩
取 締 役	横 山 裕
取 締 役	細 川 賢
社 外 取 締 役	和 田 義
常 勤 監 査 役	竹 原 靖
社 外 監 査 役	水 野 昌
	大 山 博 康

当社ホームページのご紹介



HOME (左) …… <http://www.shiphd.co.jp>
 IRトップ (右) … <http://www.shiphd.co.jp/ir/index.html>
 今後も株主の皆さまをはじめ、より多くの方に当社ならびに
 シップヘルスケアグループに関するご理解とご関心をお持ち
 いただけるよう、様々な情報を分かりやすく、そして迅速に
 掲載してまいります。

株式関連情報

(2010年9月30日現在)

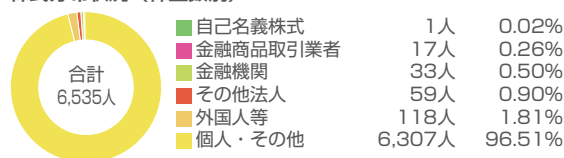
株式の状況

発行可能株式総数(2010年10月1日付で、64,000,000株となっております) 640,000株
 発行済株式総数(2010年10月1日付で、41,252,500株となっております) 412,595株
 株主数 6,535名

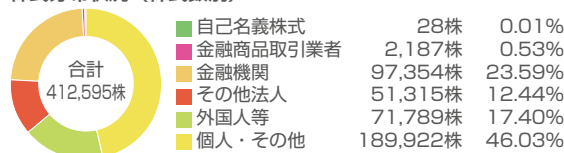
※ 2010年9月30日を基準日、2010年10月1日を効力発生日として、株式分割を1:100の比率で実施しております。同時に100株を1単元とする株式の単元化も実施しております。

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



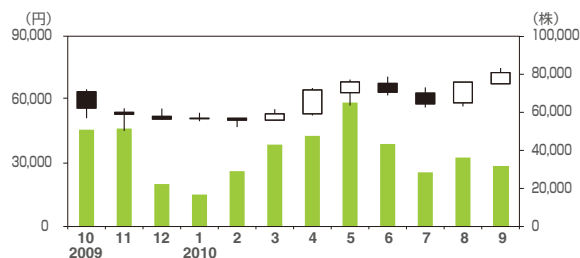
株式分布状況(株式数別)



大株主

	[保有株式数]	[保有割合]
(有)コクコー	33,819 株	8.19%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	23,461 株	5.68%
古川 國久	20,285 株	4.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	19,580 株	4.74%
古川 幸一郎	15,850 株	3.84%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	14,161 株	3.43%
春日興産合同会社	14,000 株	3.39%
増田 貞満	12,327 株	2.98%
従業員持株会	10,617 株	2.57%
ザチース マンハッタンバンク エヌエイロンドン エスエルオムニバス アカウ	10,026 株	2.42%

株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 特 別 口 座 の 住友信託銀行株式会社(旧 クリーンホスピタルサプライ(株)の株主様)
 口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社(旧 セトラルユニの株主様)
 同 連 絡 先 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、
 その他のやむを得ない事由が生じたときは、
 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)
<http://www.shiphd.co.jp>



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS